



パネリスト
百本 邦子さん
(西国街道・海田市ガイド
の会会長)

「西国街道・海田市ガイドの会」会長を務める百本さんは、歴史の視点から瀬野川について語りました。

明治6年に現在の位置に瀬替えした瀬野川は、中世末〜近世初頭には河口がそれよりもずっと南寄りであったことや、地域の発展に伴い干拓を繰り返して、海岸線が変化してきたなどと、図を示しながら解説。

また、会が発足する直前に起きた東日本大震災のことにも触れ、「土地の変遷を繰り返している、そのような特性の土地に住んでいることを私たちは心に留めておかたい」と語りかけました。

変遷を繰り返してきた川 住んでいる土地の特性を認識しよう

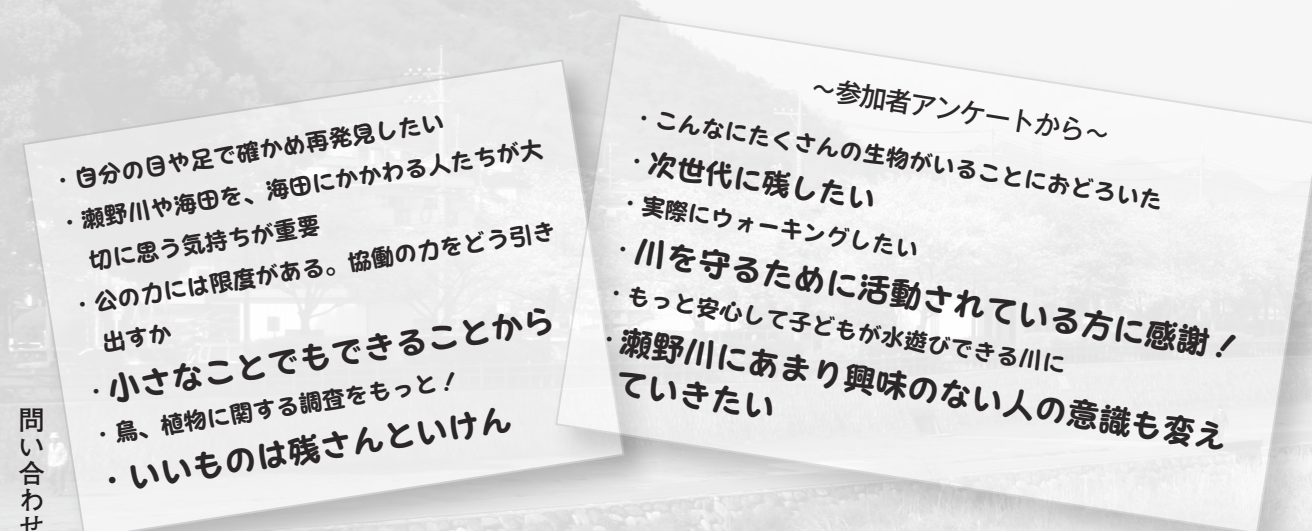
「子どもころは、瀬野川にシャコがたくさんいてとりに行くのが楽しみだった」と、幼い頃の思い出を交えながら話したのは、発表者唯一の海田町生まれ、山岡町長。町では瀬野川の伏流水を町民に供給していることから、その安全管理にも十分に気を配っています。

「町内に住んでいると、看板設置など気付かないことが多い。協働の面からも専門的なことや、いろいろな世代の声を聞く場があつていい。河川敷では一年を通して行事も多い。管理する広島県、近隣市町とも協力していきたい」と述べました。

パネリスト
山岡 寛次
(海田町長)

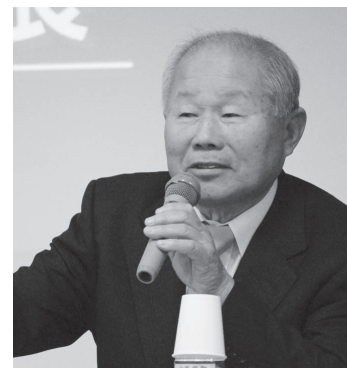


川を守るため、幅広い世代からの声を聞く場が必要



問い合わせ

企画課 ☎ 823-9212



パネリスト
広瀬 俊明さん
(海田町公衆衛生推進
協議会会長)

海田町公衆衛生推進協議会(川公衛協)会長の広瀬さん。空き缶等散乱ごみ追放キャンペーンや「水辺教室」、「健康ウォーキング」など、公衛協が瀬野川を舞台に長年実施している活動を紹介しました。さらに、河川敷で実施される「エーゴと瀬野川環境フェア」では、3R※などの啓発を通じて、川を取り巻く環境問題にも力を入れていきます。

また、町が「美しいまちづくり条例」を制定し、PRしていることにも触れ、「実現するためには、ぜひ皆さんの協力を」と力強く会場に呼びかけました。

※ 3 R…Reduce (リデュース) 減らす
Reuse (リユース) 再使用
Recycle (リサイクル) 再資源

「美しいまちづくり条例」にもぜひ注目を

瀬野川ファンを増やそう (玉谷)



事例発表
玉谷 栄教さん (左)
坪島 知也さん (右)
(ともに広島市立大学大学院情報科学研究科1年)

「瀬野川は広島市内への道中、気になる存在ではあったがなかなか触れる機会がなかった」という坪島さんは東広島市出身。それが中村幸春さんとの出会いで願いは叶うこととなりました。子どもたちと川で活動したり、ワークショップを経験することで、瀬野川は町の宝であることも、実際に行動に移す町民も宝だと感動したそうです。

安佐北区出身の玉谷さんは、海田町在住の友人との出会いが縁でこれまでに瀬野川に触れる機会も多く、「地元に愛される川」を体感したそうです。今回のワークショップを経て、歴史や設備、住民活動などさらに魅力を実感。その魅力を多くの人と共有し、瀬野川ファンを増やしたいという思いで作成したホームページを披露しました。生物図鑑や探検マップなどが盛り込まれ、参加者の関心を集めていました。



2/16ホームページ運用開始!
「海田町の宝、瀬野川」
<http://www.senogawa.info/>

現在こんなホームページを作っていると提案する玉谷さん。「河川敷のベンチはデートにぴったりです!」

聴衆も熱く! 期待される瀬野川

フォーラムには約130人の参加がありました。会場からは、「海田だけきれいにしても上流からごみが流れてくる。自治体の広域連携が必要なのでは?」「瀬野川河川敷は、夜間照明やトイレなど設備が整っている。いいところをもっとPRしてほしい」など熱い意見も寄せられました。



「何気ない風景」が「まちの宝」に

終了後のアンケートでは、「瀬野川を『川』としか見ていなかったが、『宝』『財産』として語られていて、とてもよかった」「たくさん生物が住んでいるとは知らなかった」「さらに安心して子どもが遊ぶことができる川に」など、たくさん感想が寄せられました。

有名な自然環境や観光地で知られている他の市町村と比べると、確かに目立たないかもしれませんが、ごく当たりまえに見ていた「何気ない風景」が、実は「まちの宝」ということに気付いた人が多かったのではないでしょう。

魚などの生物に興味があり参加したという女子高校生は、「知識不足だと思っていたけれど、自分にもできることがあるんだなと分かりました」と話していました。

目に見える大きな活動でなくとも、彼女のことばのように、身近なことからできることに取り組んでみませんか。